

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 24 No.1 2022年1月15日

製品・サービス動向-国内

■ブイキューブ：メタバースでのコミュニケーションサービス提供開始、第一歩として「メタバースイベントサービス」を開始

(1月12日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、メタバース領域に参入する。

世界的にメタバースへの関心が高まり、ゲーム、SNS、音楽、スポーツ、EC、イベント、オフィスづくり、街づくり、モノづくりなどさまざまな分野で多くの取り組みが始まっている。取り組み自体を盛り上げていくために、メタバース内でのコミュニケーション活性化が注目されており、ブイキューブは、ゲームや音楽、スポーツなど個人が楽しむ分野からオフィス・街などビジネス分野まで、メタバースで行われるさまざまなコミュニケーションに関する相談を受けるようになったという。



メタバース空間でのイベントイメージ (ブイキューブ)

同社では、社内向け・社外向けを問わず、多くのオンラインイベントを「EventIn」「Touchcast」「V-CUBEセミナー」といった多彩なシステムと配信専用スタジオ「PLATINUM STUDIO」や専門スタッフによる運用サポートの両面から支援しており、2021年は、2020年の約4,700回の開催実績を大きく上回る数の開催を支援している。数十人規模から数千人規模まで、社内キックオフイベント、株主総会、IR説明会、マーケティングセミナー、交流重視ネットワーキングイベント、カ

ンファレンスと多岐に渡るイベントの支援をしてきた。

これまでのオンラインで蓄積してきた知見をメタバースで活かし、国内最大のメタバースイベントサービスプロバイダーを目指す。また、イベント以外におけるメタバース領域の展開についても、準備が整い次第、順次発表、提供を開始していくとしている。

■ナイスモバイル：2台連結も可能な360度全方位集音マイク・スピーカー発売、Zoom認定ハードウェア

(PRTIMES：1月12日)

ナイスモバイル株式会社 (<https://nicemobile.jp/>) (長野県松本市) は、1月12日より、360度全方位集音で快適なWeb会議を支援する「オールアングルマイクスピーカー E-supply(BM21)」を販売開始する。



オールアングルマイクスピーカー E-supply(BM21)

(ナイスモバイル)

オールアングルマイクスピーカー E-supply(BM21) は、どんな会議室でも死角なく集音できるマイク・スピーカー一体型のWeb会議支援ツール。「Skype」、「Zoom」、「Microsoft Teams」をはじめとしたさまざまな会議用ソフトウェアに対応。Zoom認定ハードウェア。

本体には、マイクアレイを6個搭載しており、半径5m・360度の範囲から集音し、人の声を自動認識して増幅する。また、USB、Bluetooth、AUXとフレキシブル

ルな接続性があり、複雑な初期設定をすることなく接続できるようになっている。

1台で1名～10名まで対応できるため、在宅環境でリモートワークする個人から、小中規模会議室でWeb会議を行う企業まで利用できる。また、2台連結して使用することで最大20名の大会議にも対応できるとしている。

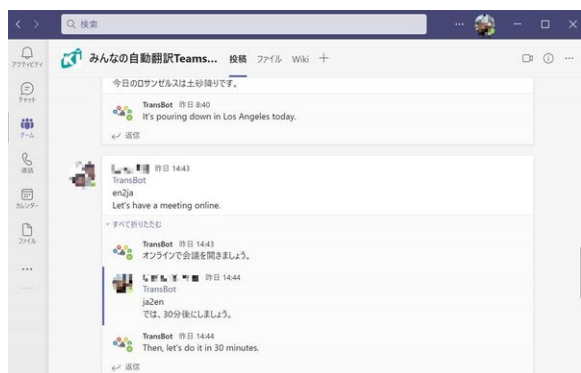
ワイヤレス充電対応の充電式バッテリーを搭載しており、1回の充電で最大8時間の連続使用が可能となっている。

本体の寸法は、120mm x 35.2mm。重量は395g。色はダークグレイを用意。想定販売価格は、31,900円（税込み）。

■川村インターナショナル：みんなの自動翻訳@KIがMicrosoft Teams上で利用可能に

(PRTIMES：1月5日)

株式会社川村インターナショナル (<https://www.k-intl.co.jp/>) (東京都新宿区) は、国産自動翻訳エンジン「みんなの自動翻訳@KI (商用版)」にビジネス向けコラボレーションツール「Microsoft Teams」との連携機能を開発し、1月5日より提供開始する。



Teams上での自動翻訳イメージ

(川村インターナショナル)

みんなの自動翻訳@KIは同社が管理運営するクラウドサービス。日本語と英語間、日本語または英語と中国語間など65以上の言語の組み合わせで翻訳が可能

となっている。今回発表された連携機能により、Teams内の任意のチームにおいて、自身の投稿内容を、クラウドを経由して任意の言語に翻訳することができるようになる。

本機能は、みんなの自動翻訳@KIのオプション機能として提供するもの。また、ユーザがクラウドへ送信した翻訳原文および翻訳結果をサーバーに残さないため、チャットツール上でやりとりされる社内外の機密情報を安心して翻訳することができる。

Teams連携利用の初期費用は、110,000円(税込み)。Teams連携オプション費用が5,500円(税込み)/月。利用開始にあたっては、みんなの自動翻訳@KIの契約とTeamsにおける設定作業が必要になる。

みんなの自動翻訳@KIは、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)のニューラル自動翻訳エンジン「みんなの自動翻訳@TexTra」を商用化した法人向けサービス。小規模から大規模導入に対応し、一般文書から専門分野に応じてカスタマイズされたエンジンを用意している。今回のTeamsでの翻訳は一般的な文書を翻訳する「汎用エンジン」で行われる。

川村インターナショナルは、1986年1月設立。翻訳・機械翻訳、ポストエディットなどの翻訳ソリューション、通訳、制作、人材派遣・紹介などを行っている。

ビジネス動向-国内

■VTV ジャパン：「Zoom Rooms 認定インテグレーター」の称号を取得

(1月13日)

VTV ジャパン株式会社 (<https://www.vtv.co.jp/>) (東京都千代田区) は、Zoom Video Communications 社 (<https://zoom.us/>) (米国・カリフォルニア州) から「Zoom Rooms 認定インテグレーター」として認定されたと発表。



Zoom Rooms 認定インテグレーター (VTV ジャパン)

同認定は、Zoom 社指定のトレーニングを受け、Zoom Rooms の設計、導入の実績が評価されたパートナーに与えられる。



Zoom Rooms (VTV ジャパン)

VTV ジャパンは、これまでにハドルルームのような小規模の会議スペースから役員会議室、ホールのような大規模会議室まで、さまざまな会議環境に合わせた Zoom Rooms の導入を支援してきた。

今後も Zoom Rooms 認定インテグレーターとして、28 年間オンライン会議に携わってきた知見と、オーディオビジュアル機器の知識を活かし、オンライン会議に最適な会議環境の構築をサポートする。

ビジネス動向-海外

■Mio 社：チャット間の相互運用ソリューションで、Zoom 社や Cisco 社などからシリーズ A ラウンド 870 万ドルの資金調達を実施

(PR Newswire：2021 年 12 月 10 日、
MIO updates: Tom Hadfield)

チャットの相互運用サービスを提供する Mio 社 (<https://mio/>) (米国・テキサス州) は、Zoom Communications 社と Cisco Investments 社が主導するシリーズ A ラウンドの資金調達を発表した。調達額は 870 万ドル。企業顧客向けメッセージング相互運用サービスを強化する。

Mio 社は、チャットの相互運用性ソリューションを提供している。「Zoom Chat」「Microsoft Teams」「Slack」「Webex」などのチームコラボレーションアプリのユーザは、Mio を使用してさまざまなメッセージングアプリを使用する同僚や外部の連絡先とチャットができるようになる。

Zoom Chat などのチームコラボレーションアプリは、広範なパブリック API を提供している。これらの API を統合し、Zoom 社や Cisco 社などと協力して新しい API を開発することで、Mio 社は、Webex、Microsoft Teams、Slack、Zoom の間でシームレスな相互運用性を実現している。

Mio 社では、Zoom、Webex、Teams、Slack のユーザ間で最終的に 1 日あたり数十億のメッセージを処理する必要があるインフラを構築するという。

同社としては、どんなチャットアプリを使用しても相互にチャットをやりとりできる環境 (Collaboration Nirvana) を提供することを目指す。今回の調達でまた一歩その実現に近づいたという。

同社は、2016 年テキサス州オースティンに設立。Mio 社は、Zoom 社、Cisco 社、Goldcrest Capital、Eniac Ventures 社、Two Sigma Ventures 社、Khosla Ventures 社、Y Combinator 社、Capital Factory 社からこれまで総額 1,700 万ドルを調達したことになる。

セミナー・展示会情報

<国内>

■【追加開催】【人気 No.1!】Zoom Rooms & Neat 体験会～1台でZoomにもTeamsにも参加できるAll in oneソリューション～

日時：1月20日（木）9:00～18:00

1月21日（金）9:00～18:00

会場：日商エレクトロニクス株式会社（東京都千代田区）

詳細・申込：<https://zoom.nissho-ele.co.jp/event/>

■POLY + MICROSOFT WEBINAR より良くブレンドされたコミュニケーション環境をめざして！

日時：1月27日（木）13:00～

会場：オンライン

共催：マイクロソフト株式会社/Poly (Plantronics + Polycom)

詳細・申込：<https://connect.poly.com/>

■Web RTC の活用で効率化するコンタクトセンター

日時：2月10日（木）14:00～15:00（予定）

会場：Avaya Spacesにて開催（オンライン）

主催：日本アバイア株式会社

詳細・申込：<https://partners.avaya.com/jp-ev-bp-web-rtc-reg>

■ブイキューブセミナー情報（1月～2月）

「シンプルな配信だけではもったいない！ウェビナーツール&配信サポート120%活用術」、「オフィス×個室ワークブース×Web会議システム・ウェビナー」、「\採用・研修担当者必見！／会社説明会や社内研修をZoomでスマートに運営する活用術」 「【総務の方必見】一体感醸成とエンゲージメントを向上させる社内オンラインイベントシステム」

会場：オンライン

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（1月～2月）

「Webex 使い方ウェビナー】補正予算に間に合う！注目のWebex Collaboration 製品のご紹介」「2022年2月(42.2)の機能アップデートについて！」「Webex アプリのご紹介」など（録画も視聴できます）

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<https://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jpサイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNAレポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

編集後記

2022年第一号の定期レポートを発行しました。

この定期レポートは1999年12月の創刊から22年が経ちましたが、今年も引き続き皆さんと市場の動向をワッチしていきたいと思っております。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

CNAレポート・ジャパン 橋本啓介

CNAレポート・ジャパン 2022年1月15日号おわり

ホームページ: <https://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp